



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第121号 2024年5月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

農繁期が始まりました



苗代作り

めまぐるしく変わる気候の影響をもちに受けて、谷戸の作業も右往左往。昔ながらの農法に、ひと工夫が必要となってきました。毎年新しい試み加わるのも楽しいことです。初夏の訪れがゆっくりだといいいのですが…

お知らせ

総会 5/26 (日) 14時 ~

鎌倉中央公園 管理棟2階 研修室
総会終了後、懇親会を開催します。



**ホタルの紙芝居を読んでもくださる
ボランティアの方募集!**



谷戸はみなさんの里山保全活動のおかげで、ホタルが息しています。ホタルを観賞するためのマナーや、ホタルの生態を知っていただくために、手作りの紙芝居を上演しています。お友だちやご家族の方を誘って、紙芝居ボランティアに参加してみませんか。

お申し込み&お問い合わせは事務局まで
電話 or Fax or メールにて

3月前半は初夏のような陽気もありましたが、3月の後半から冬のような寒さの日がありました。当初の予想に反して、例年よりも桜の開花が遅れる結果となりました。アカガエルの卵を保護するようになってから3年、今年は昨年を上回る350個を記録し、10年前とほぼ同じ数に



アカガエル

回復しました。ところが、アカガエルやヒキガエルの卵まで、根こそぎ持ち去られる事件が発生しました。田んぼには犯人の足跡がついていました。ヒキガエルは2年ぶりにやっと産んだ卵だったので、今後の存続が心配です。アカガエルはネットで保護した場所は無事でした。市内の野村総合研究所跡地の池、広町緑地でも同じ事件が起きており、大量の卵が一気に盗まれていることから、組織的なプロの仕業ではないかと感じます。

●田んぼの生きもの今昔

当会が谷戸の田んぼに関わるようになってから、40年近くがたちました。環境も生きものも変わり、人も代わりました。特にここ数年は、生態系の変化を感じますので、昔の様子を書いておきたいと思います。

桜が散る頃になると、シュレーゲルアオガエルがにぎやかに鳴き、田んぼにはシオカラトンボによく似たシオヤトンボが飛びはじめ、畔にはタンポポのようなオオジシバリの花が咲き始めます。春だけに見られるシオヤトンボが多いのは山崎の谷戸の田んぼの特徴でしょう。また、田んぼに亀（クサガメ）が棲みついており、作業中に見つかることもあります。以前、田んぼ班の人たちが、甲羅に印（甲羅のふちに切り込みが入れてある）をつけて



シオヤトンボ

一匹ずつ身体測定をして記録していました。その台帳が今でもありますので、興味のある方はぜひご覧になってください。冬の間も水がある田んぼであること、畔つけなど普通の作業がこれらの生きものを守っています。一方、大きく変わってきたのは、田んぼの水の中の生きものです。昔は田うないをしていると、足元にたくさんのアカガエルのオタマジャクシが泳いで



オオジシバリ

いました。水生昆虫も多く、田植え前の田んぼは水族館のようでした。今は昔にくらべると寂しくなってきましたが、その原因の一つに、野鳥の習性が変わってきたことがあげられます。アオサギという今までいなかった大型の野鳥が田んぼで生きものを食べるようになったり、カルガモが田んぼの生きものを食べつくしてしまうからです。カルガモは昔からいましたが、今ほどは谷戸に依存していなかったと思います。昔は谷戸周辺の住宅地に田んぼが残っていましたが、それらがなくなりましたので、谷戸の田んぼに頼らざる得ないのでしょう。アオサギやカルガモの被害は他の里山でも報告されています。



クサガメ

各班のお知らせ

畑班



畑を耕してミミズの姿を見ない。思い切って不耕起栽培・・・というわけにもいかないの、落ち葉堆肥の活用を図ることを考えたい。また雨が少ない昨今、今年の降雨量も気にかかるところ。

田んぼ班



3月末、2年に1度のため池浚せつ。泥にまみれ、ヌカガに刺され、かい掘り一直線、水漏れの穴もふさぐ。種籾蒔き。隠田に初の苗代は完成翌々日の豪雨に冠水。そして田うない。大地はまた新たな1年をめぐり始める。

雑木林管理班



今期予定した、木の間伐、枝打ち、薪作り、竹林整備と、全ての作業が完了しました。しばらくは田んぼ班の活動に合流します。田植えが終わってから土手の手入れで活動を再開する予定です。



4/10 斜面の手入れ

農芸班



今年も自然からの恵みに感謝しながら楽しく活動していきます。手作りのよさ面白さを実感していただけます。6月の梅干し作りから始まります。梅の実が少しずつ膨らみ始めていて、収穫が待ち遠しいです。

3/13 ジャがいも植付け



自然遊び班



今年度の里山探検隊は、田んぼに挑戦します。小段谷戸の田んぼ2枚を、子どもたちと一緒に田うないから稲刈りまで。おいしいお米ができたなら、収穫祭でみんなでいただきます。もちろん畑作業も頑張ります。



4/14 竹林整備

植物育成班



野草畑の手入れをしました。数年前に移植したニリンソウが増えました。ヒメオドリコソウの種が熟す前に除去を始めました。根から抜くのは根気が必要ですが、皆で作業していると苦労も半減します。

生態系保全班



オタマジャクシの保護ネットを張りました。また、大雨で流されないように、水口の場所を変え、田んぼの下に小さな池を作りました。効果があり多くのオタマジャクシを救済することができました。

谷戸の生きもの

ケラ ケラ、ケラ、ケラ、バーニンラブ??

漢字では“螻蛄”。江戸時代の“和漢三才図会”に「螻蛄」の項目がある。谷戸では田んぼの畔（くろ）など水分の多い土中にいる。見た目はアメリカザリガニにも似ているが広い意味ではバッタの仲間（バッタ目ケラ科）。すごいのはその能力。地中を掘り進む以外に水面を泳ぎ、婚活期（5～6月）には空を飛び、また地上もそれなりの速さで走り、さらに樹木に登ることもできる。前出“和漢三才図会”にも「この虫には五つの能力がある」と書いてある。なお“虫けら”の“けら”は諸説あるものの“螻蛄”のことではないというのが通説。よかった！昭和天皇は「雑草という草はない」と言われたが、“虫けらという虫”はいないからね。（たのくろまめお）



小段谷戸田んぼ



“ししいし”近く（5月：婚活中?）

ナガニジゴミムシダマシ 漢字なら“長虹塵虫騙”か？

6月4日は言わずと知れた“虫の日”。虫屋が1年で一番嬉しい日だ。ちなみに二番目は11月22日ね（爆）。建長寺の“虫塚”では毎年虫供養が行われるが、集まる女性は虫好きというより養老ファンが多いらしい。むしろ虫は苦手という人が多いからね。この虫も随分とひどい名をつけられている。枯れ木や伐採木に生える菌類を食べているのに身に覚えのない“ゴミムシ”や“ダマシ”では気の毒だ。人間だったら裁判所へ改名を申し出れば認められるケースだろう。その場合「名の変更許可の申立書」では8つの理由から選ぶ必要があるが、「1 奇妙な名である」にマルかな。（たのくろまめお）



いずれも炭焼き窯奥の雑木林

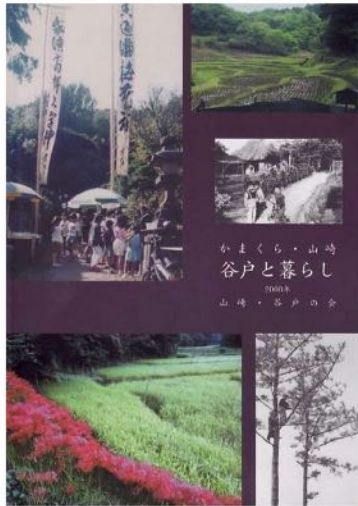
～ 新リーフレットできました ～



谷戸の植物と生きものを紹介したリーフレットを発行しました。多方面の方から、谷戸の自然に親しめる身近な観察図鑑がほしいとのご要望があり作成しました。散策のお手元にどうぞ。

～ 当会が作成した出版物 ～ 在庫はたくさんあるので、いつでもお求めになれます。

書籍



紙芝居



DVD



オリエンテーション開催 4/14(日)

たくさんの方の参加で賑わいました。新しい仲間が増え、各班のリーダーが張り切っています。



5月

- 3日(祝・金) 田 畔草刈り・苗床草取り
講座「谷戸の茶摘み」☆
- 5日(日) 田 くろつけ
- 8日(水) 植 帰化植物の除去作業
- 12日(日) 田 くろつけ・苗床草取り ♣
- 13日(月) 畑 畑の整備 ♣
- 15日(水) 畑 さつまいも苗植えの準備 ☆
生 初夏のチョウと鳥観察
- 18日(土) 田 くろつけ
- 19日(日) 田 くろつけ、しろかき、苗床草取り☆
- 20日(月) 畑 さつまいもの苗植え ☆
- 26日(日) 田 しろかき、紐張り ☆
- 27日(月) 畑 落花生の種蒔き ♣

6月

- 1日(土) 田 苗取り、田植え
生 夜の自然パトロール ♣
- 2日(日) 田 苗取り、田植え、紐張り ♣
自 里山探検隊「春の谷戸しごと」
- 5日(水) 植 クズの除去作業
- 8日(土) 田 苗取り、田植え ☆
- 9日(日) 田 苗取り、田植え
- 12日(水) 畑 たのくろ豆の種蒔き ☆
- 14日(金) 農 梅干し作り(梅収穫・下漬け) ♣
- 15日(土) 田 田植え(予備)、補植、田の草取り ♣
生 夜の自然パトロール ♣
- 16日(日) 田 補植、田の草取り
雑 土手の手入れ ♣
自 こども里山一日体験「じゃがいも掘り」
- 17日(月) 畑 じゃがいも掘り
- 19日(水) 植 野草の植え込み作業
- 23日(日) 雑 土手保全のための草刈り ☆
青空自主保育なかよし会保全作業
- 24日(月) 畑 長ねぎの移植
- 26日(水) 生 湿地復元 ☆
- 30日(日) 田 田の草取り
雑 下草刈り ♣

7月

- 1日(月) 畑 にんじんの種蒔き
- 3日(水) 植 土手の草刈り作業
- 6日(土) 生 夜の自然パトロール ♣
- 7日(日) 田 田の草取り ♣
雑 土手の草刈り ☆
自 里山探検隊「夏の谷戸しごと」
- 10日(水) 畑 さといもの草取り・土寄せ ♣
- 13日(土) 生 夜の自然パトロール ♣
- 14日(日) 田 田の草取り、畔の草取り
雑 雑木林の下草刈り ♣
- 17日(水) 農 梅干し作り(赤じそ仕込み) ♣
生 初夏のカヤネズミ調査
- 21日(日) 田 田の草取り ☆
雑 草刈りして水路整備 ♣
- 28日(日) 田 田の草取り ♣
雑 アズマネザサの刈り取り ☆

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験
各班活動 農家風休憩舎 9:30 集合
(農芸班、自然遊び班は、10時～)
夜の自然パトロール
18:30 山崎口しいし前集合 20:30 頃まで

田：田んぼ班 畑：畑班 雑：雑木林管理班
農：農芸班 自：自然遊び班
生：生態系保全班 植：植物育成班



〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10 時～16 時

ホームページ: <https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス: ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

● 次号(会報 122号)は2024年7月発行予定

● 会費 郵便振替口座番号 00270-6-115647